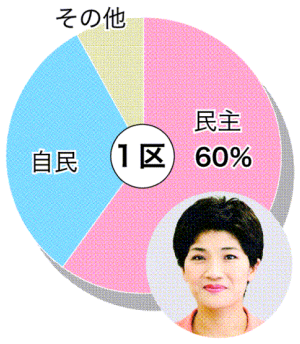
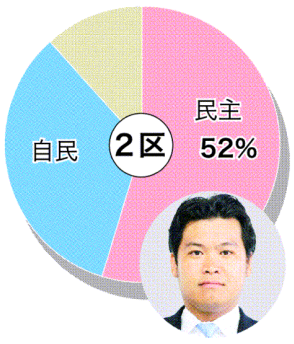
(C)新潟日報社

県内小選挙区得票率

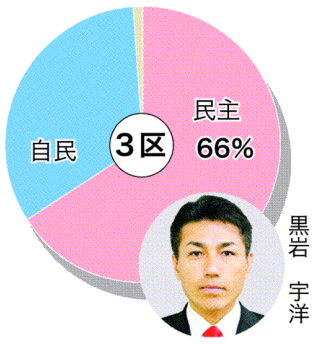
（敬称略。得票率は対有効投票）



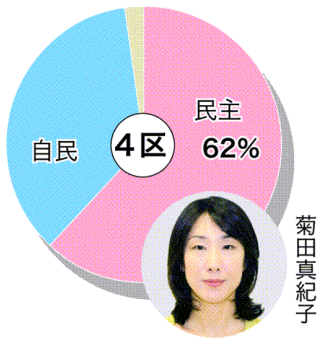
西村智奈美



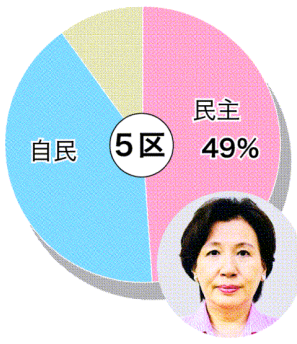
鷲尾英一郎



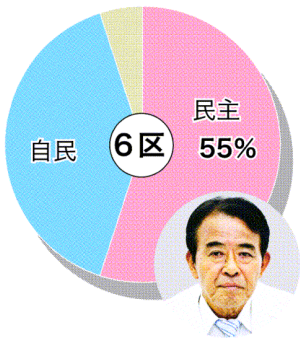
黒岩　宇洋



菊田真紀子



田中真紀子



筒井　信隆

県政界も地殻変動

変革への思い一つに

3区 黒岩さん

「政治的に取り残されてきた3区を変える時だ、という思いが一つになった勝利だ」

5期16年務めた自民前職の稲葉大和さんを破って初当選を果たした黒岩宇洋さんは、新発田市の事務所で喜びを爆発させ、支持者から届けられた大きなタイを掲げた。

当確の吉報が飛び込んで来たのは午後8時ごろ。自民の牙城を突き崩しての早速の勝利に、驚きのどよめきも。2007年7月の参院選で苦杯を喫し、故郷の南魚沼市を離れての挑戦だった。

目を潤ませた黒岩さんは「民主党という船が3区から新たに出る。これからは政権党。責任ある政治をしなければならない」と決意を語った。

県内小選挙区開票結果

（選管最終）

1区	当	169,389	西村智奈美	42	民前③
		90,626	吉田六左エ門	69	自前
		17,919	武田　勝利	45	共新
		3,690	松本　弘司	49	諸新
2区	当	122,686	鷲尾英一郎	32	民前②
		86,960	近藤　基彦	55	自前
		22,866	米山　昇	57	社新
		2,257	菅原　智	49	諸新
3区	当	154,985	黒岩　宇洋	42	民新①
		77,058	稲葉　大和	65	自前
		2,668	富川　将充	36	諸新
4区	当	144,230	菊田真紀子	39	民前③
		82,826	栗原　洋志	38	自新
		3,660	関谷　剛	38	諸新
5区	当	103,202	田中真紀子	65	民前⑥
		86,453	米山　隆一	41	自新
		17,698	伊部　昌一	57	社新
		1,458	山田　好孝	58	無新
		1,323	笠巻　健也	39	諸新
6区	当	124,894	筒井　信隆	64	民前⑤
		89,672	高鳥　修一	48	自前
		9,222	橋本　正幸	61	共新
		1,836	国領　大聖	32	諸新

【注】自は自民、民は民主、共は共産、社は社民、諸は諸派で幸福実現、無は無所属。円内数字は当選回数。敬称略。

「変えたい」という県民の意思が嵐となって吹き荒れた。県内すべての小選挙区を民主党が独占し、新たな歴史の扉を開いた衆院選。投票箱のふたが閉まった30日午後8時。その直後から、県内の民主候補事務所に「当選確実」の報が次々に舞い込んだ。支持者から驚きの声が上がるほどの圧勝ぶり。各候補は「民主王国」誕生の喜びと、その責任の重さをかみしめた。

かぶとの緒締めたい

2区 鷲尾さん

「勝ってかぶとの緒を締めたい」。鷲尾英一郎さんは引き締まった表情で語り、喜ぶ支持者と抱き合った。

午後8時すぎ、燕市の事務所では、支持者が集まりきらないうちに当選確実が伝わった。自民県連会長の近藤基彦さんを破り、小選挙区では初勝利。鷲尾さんは「政権交代への期待がしぼまないよう約束を実行していきたい」と誓った。

県内の全小選挙区を制した民主の勝因などを選挙区ごとにまとめた。（敬称略）

【1区】民主支持層を固めた上で無党派層を取り込み、自民支持層にも食い込んだ西村が圧勝した。前回比例復活の吉田は終盤に追い上げ、公明支持層をまとめたものの、4期目はかなわなかった。比例議席獲得に集中した武田は、支持を広げられなかった。

【2区】前回比例復活の鷲尾が民主支持層と無党派層の支持を集め、近藤を追い落とした。鷲尾は社民の独自候補擁立などで前回の組織を一部失ったが、地道な地域回りで保守層にも浸透した。近藤は後援会や自民支部を軸に組織戦を進めたが、自民支持層の離反を食い止められなかった。米山は社民以外への広がりを欠いた。

【3区】初めての自民、民主対決は黒岩に軍配。民主、社民支持層や無党派層に加え、保守層からも支持を集めた黒岩が大差をつけ、自民の「金城湯池」を奪った。稲葉は自民支持層をはじめ、旧来の支持層を最後まで固めきれず6選を逃した。黒岩が出馬表明後、約1年9カ月かけて反自民、反稲葉の票をまとめ上げたのに対し、稲葉は後援会と党組織を主体に基盤固めを図ったが上滑りした。

【4区】菊田が、連合と後援会を中心とした組織戦で民主への追い風も受け止め、栗原を寄せ付けなかった。菊田は後援会がフル活動。「政権交代」を強く訴え、無党派層の支持も集めた。栗原は党支部を軸に戦ったが、自民支持層をまとめきれなかった。

【5区】田中が民主への追い風と高い知名度を生かし、米山の追い上げをかわして県内最多の6選を果たした。田中は連合の推薦を辞退したが、系列企業や後援会がフル稼働。幅広い層の支持を得た。米山は世代交代を訴え、地元魚沼市で田中を上回ったが、長岡市で伸びなかった。伊部は二大政党の戦いに埋没した。

【6区】筒井は6区の5市町から満遍なく票を集め、自身最多の約12万4千票を得て圧勝。無党派層も確実に取り込んだ。高鳥は自民、公明の支持層を十分に固め切れず、苦戦を強いられた。橋本は大きく水をあけられた。

終わりでなく始まり

1区 西村さん

西村智奈美さんは余裕の3選に満面の笑みを浮かべ「今回の総選挙はこの勝利でおしまいではなく、ここから始まる」と話し、「新たな責任と緊張感」を強調した。

午後9時前、支持者の「智奈美」コールに包まれて新潟市の事務所に登場。民主県連代表として「日本の政治が生まれ変わったという日が迎えられるよう、全力を尽くしたい」と抱負を述べた。

重責に足震えている

4区 菊田さん

3選を果たした菊田真紀子さんは三条市の事務所で「政治を変えようと立ち上がってくれた皆さんの勝利」と宣言した。

投票終了とほぼ同時の午後8時すぎ、当確の一報が流れ、支持者たちは「うおー」との大歓声。支持者から贈られた花冠を頭に頂いた菊田さんは「政権与党の議員として今までにない重責に足が震えている」と気を引き締めた。

これからも「田中党」

5区 田中さん

「少しハラハラさせて申し訳ありませんでした」。午後10時ごろまで当確を待たされた田中真紀子さんは長岡市のホテルで硬い表情で語った。万歳の時はようやく笑顔を浮かべ「陰で支えてくれた人たちの思いを忘れない」と話した。

民主党議員としての再出発に「政党は関係ない。これからも『田中党』でやっていく」と独自色発揮を宣言した。

おごってはならない

6区 筒井さん

5選目を飾った筒井信隆さんは上越市の祝勝会場で「ここでおごってはならない。大勝利は仕事をきちっとしろという後押しだ」と自分に言い聞かせるように語った。

午後8時半前には、支持者から花束をもらって日焼けした顔をほころばせた。民主党「次の内閣」農相として「農業の戸別所得補償制度を一刻も早く実現させたい」と力を込めた。